

宇都宮市立陽南中学校 第2学年 生徒質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○家の人と学校のできごとについて話をしている、自分は家族の大切な一員だと思う、家の人と学習について話をしている、などの回答が県平均を上回っている。

家族との関係が良好であると考えられる。

○学習して身に付けたことは、将来の仕事や生活の中で役に立つと思うという回答が、県平均を3.2ポイント上回り、91%を超えている。

○先生は学習のことについてほめてくれるという回答が、県平均を4.2ポイント上回っている。

○授業でわからないことがあると、先生に聞くことができるという回答が、県平均を5.3ポイント上回っている。

学校全体で生徒を認め励ます教育を推進し教師との良好な関係が築けていると考えられる。

○毎日の生活が充実しているという回答が、県平均を4.8ポイント上回り、91%を超えている。

○自分には、よいところがあると思うという回答が、県平均を3.2ポイント上回っている。

○クラスの友達との間で、話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができるという回答が、県平均を2.5ポイント上回っている。

お互いのよさを認め、自尊感情を高められるよう努めている成果と考えられる。

○社会科や理科において、わからないことをインターネットで調べたり本を読んだりするのが好きという回答が県平均を上回っている。

○社会科の学習が好きという回答が県平均を5.1ポイント上回っている。

○理科の学習が好きという回答が県平均を7.8ポイント上回っている。

○技術・家庭科が将来のために大切という回答が、県平均を4.6ポイント上回り91%を超えている。

○道徳、総合的な学習の時間、学級活動が将来のために大切という回答が県平均を上回っている。

各教科の有用性を高める授業の工夫の成果と考えられる。

●学習に対して、自分から進んで取り組んでいるという回答が、県平均を6.8ポイント下回っている。

●疑問や不思議に思うことは、分かるまでしらべたいという回答が、県平均を3.4ポイント下回っている。

●友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意であるという回答が、県平均を5.1ポイント下回っている。

●家で、自分で計画を立てて勉強をしているという回答が、県平均を6.5ポイント下回っている。

●家で、学校の授業の復習をしているという回答が、県平均を7.7ポイント下回っている。

●家で、テストで間違えた問題について勉強しているという回答が、県平均を10.3ポイント下回っている。

家庭学習の充実や必要性については、今後も継続して指導していくよう努めていきたい。

学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
・家庭学習の充実	・保護者による家庭学習の確認を依頼し、1週間ごとに記録用紙を提出する。	昨年度導入し、今年度、様式を改善したが、まだまだ成果が出るまでには至っていない。
・読書活動の充実	・朝の読書を継続して行う。	・学校全体が非常に落ち着いた雰囲気であり始まっている。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
・数学、英語の授業が理解できていない。	・生徒のつまづきを共有することと、教師の授業力向上	・学年担当教師間で、生徒のつまづきなどの情報を共有を密にし、指導にあたる。また、お互いの授業を公開し、効果的な指導の方法について研究を深める。
・家庭学習が不足している。	・保護者の協力と生徒への意識向上	・保護者会等で繰り返し協力を求めるとともに、生徒に家庭学習の必要性を繰り返し指導していく。